

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

事務事業名		新規・継続			
文化財保護活用事業		継続			
会計・款・項・目		所管課			
一般・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		生涯学習課			
事業概要		施策内順位			
市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。		2/2			
		市長公約事項			
		無			
投入指標	特定財源	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別事業費	16,772千円	8,250千円	8,250千円
		国・県支出金	4,408千円	2,809千円	2,809千円
		地方債	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円
		一般財源	12,364千円	5,441千円	5,441千円
事務事業名		新規・継続			
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続			
会計・款・項・目		所管課			
一般・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		生涯学習課			
事業概要		施策内順位			
北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物であり、国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。		1/2			
		市長公約事項			
		無			
投入指標	特定財源	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別事業費	5,047千円	30,000千円	350,000千円
		国・県支出金	0千円	15,000千円	175,000千円
		地方債	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円
		一般財源	5,047千円	15,000千円	175,000千円

目的		市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。			
平成30年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・国史跡である「寺ノ浦石器時代住居跡」の遺構等の調査を引き続き実施する。 ・小諸城址を市の「名勝」として指定するための調査を実施する。 ・指定文化財保護補助金の交付や文化財説明看板の設置等を通じ、文化財の保存・継承・活用を推進する。 ・「指定文化財」としてなじまなくても、古くから地域や市民の誇りとなっていたり、自慢として語り継がれて、保存・継承されたりしている歴史遺産等を、「小諸の誇り」「小諸プライド」などの名のもとに、認定・登録し、地域や市民が「公に価値や意義を認められたもの」として、誇りをもって大切に未来へつなげていく仕組みをつくる。 					
活動指標	指標名	単位	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	学芸員の配置人員	人	2	2	2
	文化財保護審議会の開催回数	回	2	2	2
特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・史料館等管理事業と関連 ・H28から小諸本陣問屋場保存修復事業を事業分け 					
目的		国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。			
平成30年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関に委託して、必要な調査を行うとともに、解体復原工事のための事業計画を作成する。 					
活動指標	指標名	単位	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	隣接地の買収	—	0		
	解体復原工事の実施	—	調査等	設計等	工事実施
特記事項					
H28年度から文化財保護活用事業から事業分け					